

1号：3～5歳 保育の必要性なし（幼稚園及び認定子ども園）

【担当課】学務課（公立幼稚園）・保育課（私立幼稚園・認定こども園）

推計人口と実績人口（各年度4月1日現在）

(人)	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	推計(A)	実績(B)	(B-A)	推計(A)	実績(B)	(B-A)	推計(A)	実績(B)	(B-A)	推計(A)	実績(B)	(B-A)	推計(A)	実績(B)	(B-A)
0歳	874	920	46	884	898	14	894	972	78	905			915		
1歳	1,093	1,097	4	1,048	1,086	38	1,059	1,091	32	1,071			1,084		
2歳	1,227	1,214	-13	1,221	1,218	-3	1,171	1,195	24	1,182			1,196		
1歳・2歳計	2,320	2,311	-9	2,269	2,304	35	2,230	2,286	56	2,253			2,280		
3歳	1,217	1,204	-13	1,343	1,312	-31	1,337	1,327	-10	1,281			1,293		
4歳	1,133	1,172	39	1,269	1,272	3	1,400	1,363	-37	1,394			1,336		
5歳	1,218	1,228	10	1,168	1,209	41	1,308	1,322	14	1,444			1,438		
3～5歳計	3,568	3,604	36	3,780	3,793	13	4,045	4,012	-33	4,119			4,067		
0歳～5歳計	6,762	6,835	73	6,933	6,995	62	7,169	7,270	101	7,277			7,262		

①量の見込みと確保方策

	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度				
	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)		
量の見込み(人)	1,784	1,784	0	1,890	1,890	0	2,023	2087	64	2,060			2,034				
確保方策	特定教育・保育施設(人)	848	848	0	900	881	-19	900	1008	108	900			900			
	確認を受けない幼稚園(人)	1,395	1,395	0	1,395	1269	-126	1,395	990	-405	1,395			1,395			
	計(人)	2,243	2,243	0	2,295	2,150	-145	2,295	1,998	-297	2,295			2,295			
	施設事業所数(園)	特定教育・保育施設	8	8	0	9	9	0	9	9	0	9			9		
		確認を受けない幼稚園	5	5	0	4	4	0	4	4	0	4			4		
	計	13	13	0	13	13	0	13	13	0	13			13			
②現状と課題	公立幼稚園については、幼児教育・保育の無償化等の影響により、園児数は定員数を下回り、減少傾向にある。また、瀬戸幼稚園の施設の老朽化が著しく、施設全体の維持が難しい状況である。			公立幼稚園については、幼児教育・保育の無償化等の影響により、園児数は定員数を下回り、減少傾向にある。また、瀬戸幼稚園の施設の老朽化が著しく、施設全体の維持が難しい状況である。													
③今後の方向性	公立幼稚園については、令和6年4月に瀬戸幼稚園のものと幼稚園への集約化を予定している。			公立幼稚園については、令和6年4月に瀬戸幼稚園のものと幼稚園への集約化を予定している。													

【担当課】保育課

推計人口と実績人口（各年度4月1日現在）

(人)	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	推計(A)	実績(B)	(B-A)	推計(A)	実績(B)	(B-A)	推計(A)	実績(B)	(B-A)	推計(A)	実績(B)	(B-A)	推計(A)	実績(B)	(B-A)
0歳	874	920	46	884	898	14	894	972	78	905			915		
1歳	1,093	1,097	4	1,048	1,086	38	1,059	1,091	32	1,071			1,084		
2歳	1,227	1,214	-13	1,221	1,218	-3	1,171	1,195	24	1,182			1,196		
1歳・2歳計	2,320	2,311	-9	2,269	2,304	35	2,230	2,286	56	2,253			2,280		
3歳	1,217	1,204	-13	1,343	1,312	-31	1,337	1,327	-10	1,281			1,293		
4歳	1,133	1,172	39	1,269	1,272	3	1,400	1,363	-37	1,394			1,336		
5歳	1,218	1,228	10	1,168	1,209	41	1,308	1,322	14	1,444			1,438		
3～5歳計	3,568	3,604	36	3,780	3,793	13	4,045	4,012	-33	4,119			4,067		
0～5歳計	6,762	6,835	73	6,933	6,995	62	7,169	7,270	101	7,277			7,262		

①量の見込みと確保方策

			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度				
			計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)		
量の見込み (人)	2号	第1区域	174	188	14	184	175	-9	197	221	24	246			198				
		第2区域	1,108	1,138	30	1,174	1,344	170	1,257	1,522	265	1,310			1,263				
		第3区域	110	101	-9	116	95	-21	124	88	-36	105			125				
		計	1,392	1,427	35	1,474	1,614	140	1,578	1,831	253	1,661			1,586				
	3号	0歳児	第1区域	33	17	-16	34	15	-19	34	18	-16	35			35			
			第2区域	228	82	-146	230	126	-104	233	146	-87	236			239			
			第3区域	14	4	-10	14	4	-10	14	2	-12	14			14			
			計	275	103	-172	278	145	-133	281	166	-115	285			288			
		1・2歳	第1区域	111	116	5	108	97	-11	106	114	8	108			109			
			第2区域	791	721	-70	773	939	166	760	934	174	768			777			
			第3区域	68	59	-9	67	41	-26	66	40	-26	66			67			
			計	970	896	-74	948	1,077	129	932	1,088	156	942			953			
	計	1,245	999	-246	1,226	1,222	-4	1,213	1,254	41	1,227			1,241					
	確保方策	2号(人)	特定教育 保育施設	第1区域	246	246	0	246	246	0	246	383	137	246			246		
第2区域				1,283	1,313	30	1,310	1,361	51	1,310	1,403	93	1,310			1,310			
第3区域				105	105	0	105	105	0	105	105	0	105			105			
計				1,634	1,664	30	1,661	1,712	51	1,661	1,891	230	1,661			1,661			
3号(人)		0歳児	特定教育 保育施設	第1区域	39	39	0	39	39	0	39	53	14	39			39		
				第2区域	245	258	13	250	256	6	250	236	-14	250			250		
				第3区域	12	12	0	12	12	0	12	12	0	12			12		
				計	296	309	13	301	307	6	301	301	0	301			301		
		1・2歳	特定地域 型 保育	第1区域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		
				第2区域	3	3	0	9	9	0	9	15	6	9			9		
				第3区域	0	0	0	6	0	-6	6	0	-6	6			6		
				計	3	3	0	15	9	-6	15	15	0	15			15		
計		299	312	13	316	316	0	316	316	0	316			316					
2号・3号		施設 事業所数 (園)	特定教育 保育施設	第1区域	5	5	0	5	5	0	5	7	2	5			5		
	第2区域			28	28	0	28	26	-2	28	26	-2	28			28			
	第3区域			1	1	0	1	1	0	1	1	0	1			1			
	計			34	34	0	34	32	-2	34	34	0	34			34			
	特定地域 型 保育	第1区域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				
		第2区域	1	3	2	3	3	0	3	5	2	3			3				
		第3区域	0	0	0	2	0	-2	2	0	-2	2			2				
		計	1	3	2	5	3	-2	5	5	0	5			5				
計	35	37	2	39	35	-4	39	39	0	39			39						

②現状と課題	小規模保育事業所4施設を整備する計画のうち、2施設の整備に留まった。また、計画では想定していない3歳児の受け皿が不足する待機児童が発生した。	市内待機児童の状況については、令和3年4月1日現在で76名であったものが、令和4年4月1日現在は13名と大幅に減少した。令和3年度の施設整備により受け皿不足を大幅に解消することができたものと考えられる。			
③今後の方向性	小規模保育事業所については、人口増加分を考慮し、令和2年度中に3施設を公募し、令和4年4月1日に開園する。また、急遽、既設保育園運営事業者により、定員90名規模の認可保育園を3施設整備し令和4年4月1日に開園する。	令和4年度中に、民間の新規認可保育園2園の整備により240名、既設保育園2園の増築により137名、既設認定子ども園1園の増築により70名、合計447名の定員をさらに確保し、令和5年4月1日現在で待機児童解消を目指す。			

事業名	利用者支援事業
事業内容	教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供、必要に応じた相談・助言、関係機関との連絡調整等を行い、様々な子育て支援サービスの利用にあたってサポートをする事業です。

【担当課】子育て支援課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

実施箇所数（か所）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	10	9	-1	11	11	0	12			12			12		
確保方策	10	9	-1	11	11	0	12			12			12		
②現状と課題	令和2年度は利用者支援事業を市役所子育て支援課及び移動相談8か所の9か所で実施。妊産婦及び乳幼児を持つ親に対して、子育てに関する相談や情報提供を実施した。市内に保育園などの子育て施設が増加しているため、子育て支援の必要性が求められる地域に対しての移動相談など支援の拡充が求められます。令和2年11月から子育て世代包括支援センター事業の基本型の運営を子育て支援課内で開始。			子育て支援課及び移動相談9か所、健康増進課の計11か所にて、妊産婦及び乳幼児を持つ親に対して、子育てに関する相談や情報提供を実施した。令和3年度からは子育て世代包括支援センター事業・基本型に加え、母子保健型の運営を健康増進課（いんば保健センター内）で開始した。保育施設及び子育て支援施設の利用に関する相談が増加していることより、支援の必要性が高い地域への移動相談の実施など支援の拡充が求められる。											
③今後の方向性	令和3年10月より子育て世代包括支援センターの機能として利用者支援事業の母子保健型を開設し、基本型と一体的な支援を実施することで、妊産婦及び乳幼児の実状を把握するなど、子育てに関するさまざまな悩みに対して、切れ目のない支援を提供することができる。また、移動相談の未実施地域への相談業務の実施を検討する。			利用者支援事業の基本型と母子保健型で一体的な支援を実施することで、妊産婦及び乳幼児の実状を把握するなど、子育てに関するさまざまな悩みに対して、切れ目のない支援を提供していく。また、移動相談の未実施地域への相談業務の実施を検討する。											

事業名	地域子育て支援拠点事業
事業内容	公共施設や保育園等に乳幼児及びその保護者が相互の交流を行うことができる場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うものです。

【担当課】子育て支援課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

年間延べ利用回数（回）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	195,500	55,300	-140,200	200,000	61,743	-138,257	200,500			201,000			201,500		
確保方策	195,500	55,300	-140,200	200,000	61,743	-138,257	200,500			201,000			201,500		
②現状と課題	<p>本事業は市内24か所の子育て支援施設において実施しており、子育て世代の親子同士の交流や子育てに関する相談等ができる場所を提供し、育児への不安解消に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染予防から人数及び時間の制限を設けて、事業を実施した結果、各子育て支援施設で実施された本事業の延べ利用回数の実績値が計画値を大幅に下回る結果となった。</p>			<p>市内24か所の子育て支援施設において実施し、子育て世代の親子同士の交流や子育てに関する相談等ができる場所を提供し、育児への不安解消に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により、一部制限を設けて、事業を実施した結果、計画値を大幅に下回る実績値となった。一方で、予約制や時間制限等利用方法の定着により、昨年に比べ実績値は増加傾向にある。</p>											
③今後の方向性	<p>今後も、新型コロナウイルス感染状況が収束するまでは、感染症予防を徹底し利用制限を設けて事業を実施する。</p> <p>また、核家族化や地域との希薄化などによる、子育て世代の孤立化を防ぎ、育児に対する不安や悩みを解消させるため、子育てに関する相談体制や情報提供の充実を図るとともに、今後本事業の実施地域の拡充及び見直しの検討が求められる。</p>			<p>核家族化や地域との希薄化などによる、子育て世代の孤立化を防ぎ、育児に対する不安や悩みを解消させるため、子育てに関する相談体制や情報提供の充実を図るとともに、感染症対策を徹底し、利用者が安心して利用できる体制を整えていく。</p>											

事業名	妊婦健康診査
事業内容	妊婦と胎児の健康状態を定期的に確認するとともに、妊娠・出産・育児に関する相談を行い、母親が妊娠期間中を心身ともに健康に過ごし、無事に出産を迎えられるよう、実施する事業です。

【担当課】健康増進課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

対象実人数（人）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	874	851	-23	884	824	-60	894			905			915		
確保方策	874	851	-23	884	824	-60	894			905			915		
②現状と課題	妊娠届出書提出時に母子健康手帳発行に合わせ、妊婦健康診査受診票を発行している。発行時には医療職による面接を実施しており、妊婦健康診査の重要性を伝えつつ、さまざまな相談対応をしている。			妊娠届出書提出時の母子健康手帳発行に合わせ、妊婦健康診査受診票を発行した。発行時には医療職による面接を実施し妊婦健康診査の重要性を伝えることが出来た。また、面接ではさまざまな相談対応をしており、不安の解消に努めた。											
③今後の方向性	引き続き医療職による面接を継続し、妊婦健康診査の利用を勧め、安心した妊娠期間を送れるように支援する。			妊婦健康診査の確実な受診勧奨及び妊娠期の不安への相談対応を実施し、安心した妊娠期間を送れるよう支援するため、医療職による面接を全件予約制とする。											

事業名	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）
事業内容	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や乳児とその保護者の心身の状況及び養育環境等の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業です。

【担当課】健康増進課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

対象実人数（人）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	874	740	-134	884	860	-24	894			905			915		
確保方策	874	740	-134	884	860	-24	894			905			915		
②現状と課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、訪問実施数が減少した。			新型コロナウイルス感染症予防を講じ実施したため訪問実施数は増加した。訪問未実施の家庭については、その後電話や乳児相談等の面接で対応した。											
③今後の方向性	引き続き訪問対象全戸に対して訪問案内や周知をしていく。			引き続き、案内や周知を行い、乳児のいる全家庭において訪問を実施する。											

事業名	養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業
事業内容	育児ストレスや産後うつ等の問題によって、子育てに対する不安を抱える家庭や、様々な原因により養育支援が必要となる家庭に対して、養育に関する指導、助言、家事・育児援助等を行います。

【担当課】子育て支援課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

対象実人数（人）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	10	12	2	12	11	-1	14			16			18		
確保方策	10	12	2	12	11	-1	14			16			18		
②現状と課題	家庭児童相談や乳児家庭全戸訪問事業等により児童の養育について積極的に支援することが必要と判断される家庭に対し、シッター等を派遣して養育に関する指導、助言、家事・育児援助等を行い、支援体制を整備している			家庭児童相談や乳児家庭全戸訪問事業等により児童の養育について積極的に支援することが必要と判断される家庭に対し、シッター等を派遣して養育に関する指導、助言、家事・育児援助等を行い、支援を実施した。											
③今後の方向性	引き続き、養育支援訪問事業による支援が必要と判断される家庭の選定、および支援の実施を行う			引き続き、養育支援訪問事業による支援が必要と判断される家庭の選定、および支援の実施を行う											

事業名	子育て短期支援事業
事業内容	保護者の疾病等の理由により、家庭での養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等の利用により、必要な保護を行う事業です。

【担当課】子育て支援課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

年間延べ利用回数（回）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	13	0	-13	14	0	-14	15			16			17		
確保方策	13	0	-13	14	0	-14	15			16			17		
②現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響から、本事業を委託している乳児院での受け入れが出来ない状況（感染症が収束するまでは利用者の受入れ停止）となっている。			新型コロナウイルス感染症の影響から、本事業を委託している乳児院での受け入れが出来ない状況（感染症が収束するまでは利用者の受入れ停止）となっており、コロナ禍においても継続した事業の実施が必要。											
③今後の方向性	里親に子育て短期支援事業の委託が出来るか検討。			市内の里親家庭（4世帯）へ令和4年度中に委託を出来るよう体制を整えていく。											



事業名	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）
事業内容	育児の援助を行いたい人（提供会員）と援助を希望する人（利用会員）からなる会員組織による育児に関する相互援助活動を行う事業です。

【担当課】子育て支援課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

年間延べ利用時間 (時間)	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)	計画値(A)	実績値(B)	(B-A)
量の見込み	2,204	2,242	38	2,259	2,919	660	2,335			2,370			2,365		
確保方策	2,250	2,242	-8	2,300	2,919	619	2,350			2,400			2,400		
②現状と課題	ファミリーサポートセンター事業の利用時間については見込みに対して、実績の増加がみられる。 なお、利用会員の増加率に対して提供会員の増加率が低いため、提供会員の募集について周知徹底を図る。			育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人による相互援助活動を実施することで、子どもの預かりや送迎など地域への子育て支援の推進を図ることができた。 なお、利用時間の増加が著しいことから提供会員の募集について周知徹底を図り、提供会員や両方会員の増員に努める。											
③今後の方向性	子育て世代の増加及び幼児教育・保育の無償化等により、今後の利用会員の増加が見込まれることから、安心して安全なサービスの提供ができるよう利用会員の研修を充実させ、本事業の更なる周知徹底を図り提供会員の増加に努めていく。			子育て世代の人口が増加しており、今後も利用の増加が見込まれることから、提供会員や両方会員の増員を図っていく。また、安心・安全なサービスの提供ができるよう提供会員への研修内容の充実に努める。											

事業名	一時預かり事業（幼稚園）
事業内容	幼稚園在園児を対象として、通常の教育時間を超えて園児を預かる事業です。

【担当課】保育課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

年間延べ利用回数（回）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	33,700	25,074	-8,626	35,700	30,540		38,200			38,900			38,400		
確保方策	33,700	25,074	-8,626	35,700	30540		38,200			38,900			38,400		
②現状と課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、規模を縮小して実施している園もあり、実績が見込みを下回った。			新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、規模を縮小して実施している園もあり、実績が見込みを下回った。											
③今後の方向性	今後、保育の必要性のある園児の増加が見込まれるため、ニーズが増える傾向にある			今後、保育の必要性のある園児の増加が見込まれるため、ニーズが増える傾向にある											

事業名	一時預かり事業（保育園等）
事業内容	家庭において保育をすることが一時的に困難となった乳幼児を保育園、認定こども園などに おいて、一時的に保育（主として昼間）を行うものです。

【担当課】保育課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

年間延べ利用回数（回）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	5,800	3,034	-2,766	5,950	3,347		6,150			6,240			6,230		
確保方策	5,800	3,034	-2,766	5,950	3,347		6,150			6,240			6,230		
②現状と課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応により一時預かり事業を積極的に実施することが難しい状況だった。また、事業を推進するにあたり、児童の受け入れ枠の拡大等を図るための保育人材の確保が急務となっている。			令和3年度は新型コロナウイルス感染症への対応により一時預かり事業を積極的に実施することが難しい状況だった。また、事業を推進するにあたり、児童の受け入れ枠の拡大等を図るための保育人材の確保が急務となっている。											
③今後の方向性	子育てと仕事を両立するためには、生活様式の多様化や社会・産業構造の変化に対応する多様な保育サービスの充実が求められているため、今後も引き続き事業を推進していく。			子育てと仕事を両立するためには、生活様式の多様化や社会・産業構造の変化に対応する多様な保育サービスの充実が求められているため、今後も引き続き事業を推進していく。											

事業名	病児保育事業
事業内容	病院等に付設された専用スペース等において、病児・病後児に対して、看護師や保育士が一時的に保育を行う事業です。

【担当課】保育課

①量の見込みと確保方策（各年3度月末現在）

利用実人数（人）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	520	111	-409	530	356		550			560			1,480		
確保方策	520	111	-409	530	356		550			560			1,480		
②現状と課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応により病児保育事業を積極的に実施することが難しい状況だった。			ウェブ予約システム「あずかるこちゃん」を導入し予約の面倒を改善した。											
③今後の方向性	子育てと仕事を両立するためには、生活様式の多様化や社会・産業構造の変化に対応する多様な保育サービスの充実が求められているため、今後も引き続き事業を推進していく。			子育てと仕事を両立するためには、生活様式の多様化や社会・産業構造の変化に対応する多様な保育サービスの充実が求められているため、今後も引き続き事業を推進していく。											

事業名	放課後児童健全育成事業（学童クラブ）
事業内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童を対象に、授業の終了後に施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、健全な育成を図る事業です。

【担当課】 保育課

①量の見込みと確保方策（各年3度月末現在）

利用実人数（人）		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	1～3年生（人）	1,016	900	-116	1,072	1,060	-12	1,099			1,158			1,227		
	4～6年生（人）	268	210	-58	276	232	-44	285			293			309		
	計（人）	1,284	1,110	-174	1,348	1,292	-56	1,384			1,451			1,536		
	か所数（か所）	32	32	0	33	33	0	35			37			37		
確保方策	1～6年生計（人）	1,400	1,400	0	1,570	1,570	0	1,645			1,770			1,770		
	か所数（か所）	32	32	0	33	33	0	35			37			37		
②現状と課題		令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応により放課後児童健全育成事業を積極的に実施することが難しい状況だった。 待機児童が発生している地域における、受け皿の整備・確保が必要となっている。			令和3年度は新型コロナウイルス感染症への対応により放課後児童健全育成事業を積極的に実施することが難しい状況だった。 待機児童が発生している地域における、受け皿の整備・確保が必要となっている。											
③今後の方向性		保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童の健全な育成を図るため、児童の増加が見込まれる地域における受け皿の整備・確保を行い、引き続き事業を推進していく。			保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童の健全な育成を図るため、児童の増加が見込まれる地域における受け皿の整備・確保を行い、引き続き事業を推進していく。											

事業名	放課後児童健全育成事業（放課後子ども教室）
事業内容	全ての子どもを対象として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行います。

【担当課】生涯学習課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

利用実人数（人）		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	利用人数（人）	90	0	-90	90	62	-28	90			90			90		
	か所数（か所）	3	0	-3	3	2	-1	3			3			3		
確保方策	利用人数（人）	90	0	-90	90	62	-28	90			90			90		
	か所数（か所）	3	0	-3	3	2	-1	3			3			3		
②現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが考えられるため、新しい生活様式に対応した内容を検討する必要がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>人数を制限する等、感染症対策を講じ事業を実施した。また、感染症等の状況により延期や中止の対応を行った。</li> <li>引き続き、新しい生活様式に対応した内容を検討していく必要がある。</li> </ul>											
③今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策を講じたうえで事業を実施していく。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、感染症対策を講じたうえで事業を実施していく。</li> </ul>											

事業名	延長保育事業（時間外保育事業）
事業内容	認定こども園や保育園等において、認定区分ごとに定められた保育時間を超えて、保育を実施する事業です。

【担当課】保育課

①量の見込みと確保方策（各年度3月末現在）

利用実人数（人）	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）	計画値（A）	実績値（B）	（B－A）
量の見込み	1,430	2,162	732	1,480	1,643		1,480			1,480			1,480		
確保方策	1,430	2,162	732	1,480	1,643		1,480			1,480			1,480		
②現状と課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応により延長保育事業を積極的に実施することが難しい状況だった。また、事業を推進するにあたり、児童の受け入れ枠の拡大等を図るための保育人材の確保が急務となっている。			令和3年度は新型コロナウイルス感染症への対応により延長保育事業を積極的に実施することが難しい状況だった。また、事業を推進するにあたり、児童の受け入れ枠の拡大等を図るための保育人材の確保が急務となっている。											
③今後の方向性	子育てと仕事を両立するためには、生活様式の多様化や社会・産業構造の変化に対応する多様な保育サービスの充実が求められているため、今後も引き続き事業を推進していく。			子育てと仕事を両立するためには、生活様式の多様化や社会・産業構造の変化に対応する多様な保育サービスの充実が求められているため、今後も引き続き事業を推進していく。											